

日本を訪れる 外国人の方へ

2020年3月
TTPの
登録対象者拡大!

自動化ゲートを利用して
ストレスフリーな出入国を!

出張

観光

知人・
親族訪問



短期間の滞在を目的とした、外国人渡航者に自動化ゲートを利用した円滑な出入国手続を提供するための制度 (TTP (トラステイド・トラベラー・プログラム)) の対象者が拡大。観光や出張、親族訪問等の目的で日本に入国する外国人の方が対象です。

※TTPの審査では、一定の要件を満たす必要があります(査証免除国・地域のパスポートを所持している等)。



- 自動化ゲートを利用して審査待ち時間を短縮!
- 事前にオンライン上で入国カードの作成可能!
- 旅券(パスポート)への証印(スタンプ等)が省略!

※登録申請は、オンラインで24時間どこからでも可能
ただし、オンライン申請で登録要件の確認を受けた後で 日本国内の登録窓口に出頭していただく必要があります。



世界をつなぐ。未来をつくる。

出入国在留管理庁

Immigration Services Agency

制度の詳細は、
出入国在留管理庁TTPホームページから確認できます。

https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/ttp2_index.html



>> 登録要件概要

共通要件

次の1から5の全てを満たす方

1. 査証免除国・地域の旅券を所持している（※）
2. 商用、観光、親族訪問等の目的で短期間日本に滞在する
3. 日本から退去強制や出国命令による出国歴がなく、また、日本への入国が拒否されたことがない
4. 罰金以上の刑に処せられたことがない
5. 出入国管理上不適当と認められる事情がない

※2020年1月現在、68の国・地域を対象に、査証免除措置を実施しています。
最新の査証免除対象国・地域については、外務省のホームページをご確認ください。



対象者別要件

次の1から4のいずれかに該当する方（①②はどちらか一方）

1. ビジネスマン

- ① 一定要件に該当する企業・機関の役員または常勤職員（在籍期間を問わないこととしました。）
- ② 一定要件に該当する日本の企業・機関から、TTP登録の要望がある者

NEW!

2. 観光客

国際ブランドのライセンスのあるプラチナランク以上のクレジットカードを所持している者
直近1年間に1回以上、来日していること。

NEW!

3. 家族

- ① 【ビジネスマン】または【観光客】のTTP登録者の配偶者
- ② 【ビジネスマン】または【観光客】のTTP登録者の未成年未婚の子（12歳以上推奨）

NEW!

4. 日米二国間渡航円滑化イニシアティブ利用者（JTTP）

米国国土安全保障省税関・国土取締局（CBP）が実施するグローバル・エントリー・プログラム（GEP）に登録している米国籍者
直近1年間に1回以上、来日していること。

>> 利用・登録の流れ

一次審査

オンライン
申請

いつでも気軽に申請可能！

入国
（短期滞在）

二次審査（日本国内・対面）

指紋と顔写真の登録
・
TTPカード交付

自動化ゲート
利用可能！

>> TTPカード ※TTPカードの交付は、手数料（収入印紙2, 200円分）が必要です。

表面



裏面



- 発行日から最長3年間有効
- 上陸許可証印に代わり、裏面に在留資格、在留期限等を記載（最大15件まで、印字可能）

出入国在留管理庁TTPホームページの「プレチェック」で、該当する登録要件を簡単に確認！
QRコード又は右のURLから、「プレチェック」にアクセスできます。

https://www.moj.go.jp/isa/publications/materials/ttp2_pre-check_index.html

